

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

## 議会広報広聴調査会記録

平成 26 年 3 月 24 日(月)

9 : 57 ~ 13 : 35

議会第 1 委員会室

【出席者】 田畑委員長、笹田副委員長、  
足立委員、柳楽委員、森谷委員、野藤委員、  
布施委員、岡本委員、澁谷委員 牛尾昭委員

【事務局】 小川次長、田中書記、

### 議 題

#### 1. 市議会だより第33号の編集について

- ・別紙の資料にて各自掲載記事についてチェック作業・編集
- ・4月11日、3者にて最終確認後発行
- ・一般質問の提出について  
締切日までに提出がない場合は掲載せず、最終ページに「〇〇議員未提出のため掲載なし」と表記する。次回の全協にて周知する。

#### 2. 行政視察について

##### 別紙行程表に基づき説明

幹 事：笹田副委員長、牛尾昭委員

行 程：4/14～4/16 2泊3日

視察地：流山市、所沢市、狭山市

視察内容：議会報告会、スマホ採決について

議員の発信するケーブルTV

#### 4. その他

次回：平成26年4月7日(月)10：00～ 第一委員会室

## 【議事の経過】

[ 9時 57分 開議 ]

田畑委員長

それでは皆さんお揃いですので、定刻よりは早いですが第3回議会広報広聴調査会を開催したいと思います。委員の皆さんのお手元に本日の議題、1番目が議会だより第33号の編集について、2番目に議会報告会について、3番目に行政視察について、そしてその他ということで、調査会を開催したいと思います。

まず最初に私の方から、委員会の在り方そのものをちょっと委員の皆さん方と協議していただきたいというふうに思います。以前は議会だよりの編集委員会というような形で、議会だよりだけを作る委員会であったわけですが、今年度4月から広報広聴委員会ということで、常任委員会化して、特に議会基本条も出来ましたことでもありますし、議会報告会も開催しなければならないということになりまして、我々委員会の委員の皆さん方の仕事量の多さ、負担もかなり大きくなってきます。そして先の予算委員会でも牛尾委員の方から質問がありましたように、議会事務局の職員が1名減されるというようなことになっておりまして、議会だよりを編集するにあたって、原稿の提出期限を守っていただくということについて特に厳しくしていきたいというふうに。1日2日遅れるから大丈夫だろうということではなくて、事前に議会の最終日の5時までにデータと写真を提出してくださいということをおねがひしているのにも関わらず期限が守られていないというようなことがありますので。以前にも正式な委員会の中でも多少話はしたことがあろうかと思いますが、期限をきちんと切って本人が出さない場合においては、本人の原稿未提出につき掲載出来ませんというような形で推し進めていかないと、事務局にまた、あの人がまだこの人がまだという電話のやりとり等々します。職員が1名減になる中で仕事量が、気配りが大変な負担になるのではなかろうかということがありますので、期日については必ず守っていただくと。守らない人については掲載しないというぐらいの、一つのルールをきちんと作りたいというふうに思いますので、まずそのことについて委員の皆さん方からの意見をおうかがいしたいと思います。

無いようであればそのとおりにしますがよろしいですか。

(はい、という声あり)

よろしいですか、期限が守られなかった場合においては原稿は掲載しな

いということによろしいですね。

(はい、という声あり)

それからもう一つが、本人が質問されて質問・答弁と掲載してあるわけですが、この委員会としては主語があるとかないとかいう色んなこともあるんでしょうけども、誤字脱字だけの訂正に留めるぐらいにしないとですね。今日今から編集作業に入るわけですが、この文言がおかしいとか表現がおかしいとか主語があるとかないとかいうのをやりますと、委員の皆さん方にもそれなりの負担がかかりますし、それを訂正・修正する事務局にもまた新たな負担もかかりますので、その辺りについて委員の皆さんに、この編集については誤字脱字程度に留める、まあ極端におかしな部分については本人に提出してもらうか、基本的には本人が提出したものを尊重するような形にするのが良いのかということについて、委員の皆さん方の意見をおうかがいしたいと思います。文面的なものについて。牛尾委員。

牛尾昭委員

委員長の言われることは良く分かるのですが、新人議員さんも多い中で文言等々についてはいきなり議会に入って慣れない部分があると思うので、もう少し余裕を見るようなことがあっても良いんじゃないかというような気もします。あとはその上で、それぞれ会派があるわけですから、会派の中で古い方が指導していただいて、良い方向へいくような格好で。特に表現については議会独特の表現もあるし、その辺りが慣れるのに少し時間がかかるのではないかというような気がするので、表現方法については少し猶予というか余裕を持って我慢するというようなことはどうでしょうか。

田畑委員長

はい、そのような意見が出ましたが、他の委員の皆さんは。森谷委員。

森谷委員

私は会派がないので先輩に教えてもらう機会がないけども、一生懸命頑張っていると思っておりますので、猶予は要りません。

田畑委員長

はい。その他。

(ありません、という声あり)

ありませんじゃなくて、二つ意見があるんだから、どちらが良いか悪いか独自の意見で良いですから。岡本委員。

岡本委員

似たようなことを聞くんですが、今の空欄になっている部分について、いわゆる原稿についてですが、これをまずこのままで出すのか、それとも抜いてしまうのか。

田畑委員長

一番最初に言ったのはね、3月定例会の部分については3月14日17時までにデータと写真を事務局に出してくださいとお願いしているわけだね、一般質問される方については。それにも関わらず出してない、会派の中でも何回も期限はこうですよと話しているにも関わらず未提出のままですから。

見ていただければ分かりますが。

牛尾昭委員 14ページですか。

田畑委員長 14ページの岡野議員なんですが、出してないと。この空欄を削除するというのではなく、原稿未提出につき掲載出来ませんと。

岡本委員 空欄を作ってそういうことを書こうと。

田畑委員長 ここへそう書くか、削除するか。一番最初にそのように言ったけれどもその時に皆さん意見ありませんかと言っても無いというのだから。

岡本委員 いえ、今一連にずっと会派について指摘されているような気がしたものですから、何らかの形で訴えていかなければいけないのかなと思って聞いているんですが。まあこれでいくのか、それとも今牛尾委員さんの方から会派の中での指導ということについて言われたわけですから、ちょっと1日2日。どういう状況で特定する、何か理由をつけておられましたか。何も言わないでですか。

澁谷委員 まだ出てないんですか。原稿は。

田中書記 出てないです、はい。一応、17日に事務局に他の用事でいらっしやった時に、まだ原稿が出てないので早めにお願ひしますと口頭で伝えて。ちょっと今忙しいんで、すぐ出しますとは言われたんですけど、それっきりです。

岡本委員 いきなりこの処置もどうかと思う中で、ちょっと1日2日いただけたら本人と会って話をして、それから逆に代筆してでもここを埋めるかという話ですよね。

布施委員 代筆は駄目。

岡本委員 駄目ですか。

布施委員 うん、駄目。

布施委員 委員長すみません。

田畑委員長 布施委員。

布施委員 今岡本さんが言われたように、よく分かるんですが決まりは今言われたように、編集作業をやる人間にとっては、原稿があって、やることに対しての時間を割いているわけですから、決まりはしっかり。同じ会派で温情はかけたい件はありますけども、やはりそういうところはぴしっとやらないと。彼がどうのこうのではなくて、仕事内容、この編集作業は大変なんだということも解ってもらわないと。会派で指導するのが私ら先輩議員としての務めですけども、それも過去言ってきたわけですよ何にしても。それが出来ないのであればやはり、罰則ではないですが、ここは今言ったように、本人がどういう意図で出さないのか分かりませんが、厳しく対応す

る必要があるんじゃないかというふうに。

それともう一つ良いですか。ここの員外でこういう、常任委員会ですので、ここに員外議員も来られるわけですね。この編集作業は大変だということを毎回毎回、直すところの人は一回来ていただく、それも経験していただくということも必要なんじゃないかなという思いがあります。以上です。

田畑委員長  
森谷委員

はい。森谷委員。

はい。二つあります。一つはここのこれをそのまま残すかどうかということですけども、もし削除しますとまた全部がたがたと修正の必要があるので、残すことで良いと思います。それから、先ほど布施さんが言われた点についてですけど、来ていただくという。勝手ながら二人の方には来てよと声を掛けたんですけど、本人はおかしくなっているという意識は全くありませんので、どうして傍聴するのと言われました。電話連絡は今日のこの時点で出来るようにしておいてもらうようお願いしています。これは個人的な話なんですけど。以上です。

田畑委員長  
牛尾委員

牛尾委員。

空白の件で、冒頭の件の措置を今後するのかと僕は思っていたが。いきなりこれをやってしまうという認識が無かったもので反応しなかったのだけ。岡野議員がいくら悪いと言っても、そこまですればいじめになりはしないか。

澁谷委員  
牛尾委員

今後外さなければいけないよな。

うん。だから岡野の名前で、原稿が出てないからというのは、笑われるよ。浜田市議会が笑われるよ。

岡本委員

私が言ったのは、1日2日ちょっとこの部分だけを会派の方でということになるんですが、ちょっと保留させてもらって当人に会って、もう一回直して。そんなに難しいとは思ってないですよ、書くことは。要はやる気の問題なんです。けども、待ってもらったんだからすぐやりなさいという話をこちらでしようと思うんですが、配慮してもらえませんかという話をしようとしたんですよ。そうしないと牛尾委員さんが言うように、いきなり空けるというのはどうかという話で。

澁谷委員

でも遅れるなんて。期日までに出してないというのは僕も経験ないからな、10年くらいといっても。

牛尾委員

良いですか。

田畑委員長

はい牛尾委員。

牛尾委員

まあ10日も遅れるなんてのは言語道断だよ。人のことを舐めているよ。

そういうことであってもやはり、そういうことをすれば浜田市議会が笑われるよ。これはもう一つ言えば、会派でどうにかしなさいよ。なっていないと思うよ。そうしないと不恰好だということだよ。

岡本委員

ええ、だからこの状態ではうちは出せないぞということ。伝えなきゃいけないし、彼は今この状況が見えてないわけですよ。もしかしたらまだ大丈夫だと思うかもしれませんが、関係ないと思っているかもしれない。これは大変なことだよということには言わないといけないだろう。

田畑委員長

町内の座談会じゃないので、挙手してから言ってください。森谷委員。

森谷委員

私、一般質問がまさしくそういうぎりぎりアウトになるような目に遭いそうになったんですけども、あの時は猶予は無いというふうに聞いておりましたので、このことも同様に扱って欲しいです。不公平だと思いますよ。以上。

澁谷委員

委員長。

田畑委員長

はい澁谷委員。

澁谷委員

まあ原則はね、罪刑法定主義なんで、要するに今日決めて今日、前もって言ってますかね、遅れたら載せませんということ。

(言っていない、という声あり)

だから言っていなければきちんと周知しなければいけないから。それは次回からにしなければいけないでしょう。もし載せませんこうなりますということを書いていたら良いけども、今回こういう状態で今日急に言うことは。まあ私が委員長だったら本当に委員長の気持ちは分かるしカットして載せたいと思うんだけども。ただ、はっきり言わないと皆に周知しないといけない。以後遅れた場合にはこういう形で載せませんということ。

田畑委員長

森谷委員。

森谷委員

罪刑法定主義というので言うと、一般質問も同じじゃないかと思うんですね。あの時は問答無用でさせられていますので、締め切りがある以上は載せないというのは前提の話ですよ。締め切りがあるのに載せること自体おかしいと思います。

野藤委員

委員長。

田畑委員長

はい。

野藤委員

私はもう外しても良いのかなと思ったりしますが、前、議会が始まった時、前回の第1回目の時ですけども、これ周知をしていると思うんですよ。締め切りを守るようにと。だから本人に向かっては、この度こういうことが出たから本人に向かっては言っていないけど、全員聞いているわけですよ。だからやはり。森谷委員が言われるのは筋が通っていると思いま

す。

田畑委員長  
牛尾委員

牛尾委員。

今回の問題も、僕は岡野くんの白紙を見てびっくりしたんだけど。やっぱり今のような決りをね、議会全体の問題ですから。例えばここで決めて今回は良しとしても次回からは一切認めないということにして。やはり議運でね、議会全体の問題なんで、申し合わせ事項をどこかで入れてもらわないと、逆に言えば一般質問するのも議員の権利だけど、正式な公費を使って議会だよりも一般質問した議員の広報を載せるのも、必然的に載せるべきだということがもしあるとすれば、議運で申し合わせで6月議会以降の原稿については、通告を守らない方には議会だよりも掲載しませんということを、議運に一回諮ってもらって申し合わせの中でやってもらわないと、ここの常任委員会だけの問題じゃないと思うんですよこの問題についてはね。そうすべきだと思う。それで遅れたらしょうがない。今そういうのがどこでも決まってないわけだから、突然今日決めて駄目だよと、今野藤議員が言ったけど前回そういう厳しい締め付けをして全員に告知しているかと言え、してはいないだろう。それならいくらなんでもそういうことは出来ないよ、と思う。

田畑委員長  
笹田副委員長

副委員長。

今色々な意見が出尽くしたんで、今回のことについてまず載せるのか載せないのか皆で決を採って、今後のことについてはまた話し合わない、今のことと6月のこととは別になると思いますので。言われたように、副議長も言われましたけど、ちゃんと告知もしていない中でそういうことをするのはどうかなと思いますし。ただ、大人なんですから期日をちゃんと守ってもらってという気持ちもありますので、ここの常任委員会の中で決を採って結論を出してもらって、もし載せるという決が出るのであれば、先ほど岡本さんも言いましたが、きつく言ってもらって提出してもらって、駄目だったら駄目でそこを議長とも相談しながらやるしかないかなと、今回のことについては思います。次回については言われたように議運で委員長の方から出してもらって、議運で揉んでもらって決定して全員に周知してもらおうという形でしないと、個人的にいけないのではないかなと思いますので、まずこれについて決を採っていただきたいなとは思っています。

牛尾委員  
田畑委員長  
牛尾委員

委員長。

はい。

決を採るような問題ではないと思うんだこの問題は。今さっき言ったように。だから、先ほど岡本委員が言われたように例えば1日か2日与えて、

出来なければ仕方ないですよ、だけど次からは絶対駄目ですよと言うべきで、岡本委員にお任せして2日か3日猶予を与えて出なかったらそれは仕方ないよ。そこまでしないと。

森谷委員

明日でしょう。

牛尾委員

だから、それは良いけど、決を採ってどうのこうの言うのはやはり、今回は違うと思うんだ。

森谷委員

委員長。

田畑委員長

はい。

森谷委員

私の一般質問の時には遅れていたら、こういうことを話し合ってくれていたのですか、違うでしょう。

(一般質問とは違うでしょう、という声あり)

田畑委員長

はい、森谷委員。

森谷委員

ルールはルールで同じだと思うんですよね。以上。

小川次長

委員長、良いですか。

田畑委員長

はい。

小川次長

一応、編集は広報広聴の特別委員会でやってもらって出すのですが、これ市議会の顔ですよ。空白がぽんと空いて原稿出ませんでしたから載せませんでしたなんていうのは、不細工だと思いませんかすごく。確かに個人の人が出さなかったのが悪いですよ。悪いですけど、ぽんと空いてそんな編集を、市議会はそのような広報の作り方をしているのかと言われる方が僕は、市議会の恥になるんじゃないかと思えますよ反対に言えば。内容もそうですよ、内容も先ほど言われた、誤字脱字だけという部分についても、あとの内容は個人の責任だからと言われるけども、出すのは市議会が発行するんですから。あんまり不細工なものだと議会の恥なんです。それが僕らは一番嫌なんです。それも考慮してちょっと。それとあと、森谷委員が言った一般質問とこの広報の締め切りとは、締め切りは締め切りなんだけど、一般質問はあそこで締め切って抽選をして決めてしまいますからね。それで質問まで残りは一週間しかないわけですから、この部分は、決めて、編集作業は間に合うのは間に合うんですぎりぎり。出すのは間に合うんだけど、そうじゃない。だけどそれは締め切りを決めているんだからきちんと守ってもらわなければいけないと、その辺りは当然思ってもらわなければいけない部分で。若干違いはありますけども、締め切りは締め切りとして守ってもらわなければいけない。僕は牛尾昭委員が言われたように、今回はまあ、僕も2年間ずっと広報の編集を見てきましたけど、校正の時に原稿が一つもないというのは僕も初めてです。ちょっとびっくりしました。



だからこういうことが無いように、今回はこんなことが初めてなので。1日なり2日なり待って出なかったらもうそこで削ってしまう。編集は詰めれば良いので、空いた所は何とか、コラムでも何でも埋めますから、それは無しにして、次からはもう、ペナルティではないですけども出なかったら一番最後のところに、何々議員の質問がありました、原稿未提出のため掲載出来ませんという文言を、これはペナルティとしても良いと思いますよ。ただ今回、初めてこんなことがあって即バンとやるのは、僕はどうかというふうには、事務局として、議会としての体面を、あまり体面のことを言っただけじゃないんだけど、議会としての体面を考えるとそうじゃないかなという気がしてます。

牛尾昭委員  
田畑委員長  
牛尾昭委員

委員長。

はい。牛尾委員。

議会だよりの最終責任者は議長ですからね。議会を代表する者ですから。今次長が言うように、まあ今回のことについては少し止むを得ず穏便にした方が良くないですかね。よろしくお願いします。

田畑委員長

自分の個人的な意見は、やはりこれだけ委員会を作って、浜田の議会だよりを作成するに当たっての、威厳というものもある程度無いとね。いつも臨機応変にと言えば、収集がつかなくなる可能性も出てくるので。新人議員とは言っても同じ議員報酬を貰ってやっているわけだから、ある程度のことは厳しい面もなければいけないと思うんですよ。勉強が足りないというなら勉強した者が議員として出てくれば良いわけであって。というのが僕の感覚です。本当ならここはそのくらいの厳しさが無ければ僕はいけないと思うんですよ。それか先ほど次長が言われたように削除して、先ほど言われたような、岡野議員は一般質問されましたが原稿未提出につき掲載出来ませんでしたぐらいのペナルティぐらいは何らかのものがないと。例えば未提出が3人守らないのがいたら、どのように編集作業で事務局に負担がかかってくるかというのを考えたら、実際のところ田中さんがやっておられるのを見ていたわけじゃないけども。期限を守らずに1日おきに一人ずつ持ってきたら、それはもうある程度の取組みをしてあげるといことになると、またパソコンを開く、また開くまた開く、データのバランスを見るというか。

牛尾昭委員  
田畑委員長  
牛尾昭委員

委員長。

はい。

それでは提案しますが、今ちょっと休憩を取ってもらって岡野君に電話して、今日中に原稿が出せるか出せないか確認して、それから話を進めま

しょう。そうしないと、出るのか出ないか分からないのにまたここでやっ  
ていても仕方ないから。ちょっと休憩してもらって。

牛尾昭委員

今日中。

田畑委員長

はい、それではここで暫時休憩します。(10:20)

( 10:30 再開 )

田畑委員長

それでは、委員会を再開したいと思います。ちょっと岡野議員と連絡が  
取れませんので、先ほど話した件につきましては時間がかかると思います  
ので後回しにして、編集作業に入りたいと思いますので。

(以下掲載記事について各自チェック作業、昼休憩をはさみ、その後全員で編集)

## 2. 議会報告会について

田畑委員長

議第2についてです。議会だより第33号で、裏面に議会報告会を開催し  
ますというご案内を記事にして出します。報告会の開催日時と会場につ  
きましては一覧表のとおりでありますので。また行政視察との絡みがあり  
ますので、また後ほど笹田副委員長の方から話をさせていただくと思  
います。行政視察が終わった後に全員協議会を開催していただいて、5班  
ありますので班編成の再確認と、それぞれの班における役割分担を決  
定していただくべく手順を取っていきたいと思っております。この視  
察が終わって帰ってきてこちらへ行政視察の報告書を提出した後に  
となりますので、4月20日前後になるかと思  
いますけど、また委員長と相談の上、全員協議会という形で全議  
員さんにお集まりいただいて、議会報告会の詳細あるいは役割分  
担等についてご理解をいただくべく手順を取りたいというふう  
に思っております。まだ今日の時点で4月20日にするとか21日  
とか、何日にと  
いうことは明確に言えませんので、一応4月20日前後に全  
員協議会の用命があ  
らうかということだけ心置きしておいていただ  
きたいというふう  
に思います。

笹田副委員長

すみません。議会報告会についてですが、各班で同じような報告をして  
もらうと委員長とも確認しているんですが、あともう一点、自治区の問題  
がありまして。自治区の問題を訊かれた時にやはり統一した意見で、個人  
的な意見が言えませんので、そういったこともうちの委員会で考えてい  
かないといけないんじゃないかなと思っております。各自地区で違うことは  
言えないと思いますので。そういったことも一応把握しておいてもらえ  
ればと思います。以上です。

田畑委員長

はい、よろしいですか。

(はい、という声あり)

### 3. 行政視察について

田畑委員長

それでは議第3について。お手元に広報広聴委員会の行政視察の概要、並びに行政視察行程表がお手元にあるかと思えます。それを見ながら、副委員長から説明をしていただきたいと思います。まず牛尾委員から。

牛尾昭委員

お手元に2枚配ってありますが、4月14日月曜から出発ということで。まず市役所12時に出発しますので、10分前に、11時50分には市役所へ。市役所のバスで行きますので集合してもらって12時には間違いなく出ますのでよろしく願いいたします。それから今回は往復、萩・石見空港を使います。国交省のモデル事業で2便化以降12万人いかないと浜田市にペナルティがあるというふうに聞いてますので、多く使うということでもあります。初日は移動だけということで、羽田に着いてモノレールで秋葉原に移動して泊まる。翌日、8時15分発ですから早いんですが、当日の朝食の時に言いますけれど、ホテルのフロントに何時集合ですとか。なので今日は言いません。秋葉原から流山市役所へ行って午前中視察、午後から乗り継いで狭山へ行って午後視察をして、池袋まで行って2泊目をするというようなこと。3日目は池袋スタートで所沢市の視察をいたします。間が窮屈なんですけど、所沢から羽田に向けてリムジンが出ているので、乗り継ぎよりもリムジンの方が皆さん不安がないので、そういう形で羽田へ直行で石見へ帰るということで一応計画しております。それぞれの調査内容について、流山、狭山、所沢と書いてございます。所沢のところ、市民を入れた議会報告会というのをやっていますので、これについても先方へ通告しようと思えます。今のような視察の中身です。この3市について、もう少しこういうことも訊きたいんだということが個人的にありましたら、早めに事務局の方へ訊いていただいて、改めて先方へ伝える必要がありますのでよろしく願いいたします。この3市の中で、所沢だったかな田中さん。議会が対応するというのは。

田中書記

はい、議員さんが。

牛尾昭委員

所沢市については議会の議員さんが対応をするというふうになっておりますので。事務局じゃなくて、相手方が。あとは議員さんも出られますけど事務局も出ますが、所沢については議会側が対応するというのを聞いていますのでよろしくお願いいたします。ここままで何かありますか。

(ありません、という声あり)

あとご相談なんですけど、初日がワシントン、2日目はサンシャインなんですけど、夕食だいたい4人以下で行った場合は夕食は一緒にしているん

ですが、皆さんそれぞれ宿泊の所でご予定があれば、視察と言えども身内と会うとかということがあれば今までもオッケーになっていますので、そういうことがあれば事前に言っていただい。まだ相談していませんがワシントンの近くには地元にいる一六堂チェーンがあるので、出来ればチェーンで食事をすればなど、早めに予約をして。池袋にもあるんですが同じチェーンを2日続けるというのも問題があるので。もう一つ松江の経営者のチェーンが多分池袋の近くにあると聞いているので、もしあれでしたら。皆様方から余程の推薦があればそこを使いますけど、なるべくホテルに近いところの方が良いと思いますので。そういう形で夕食を、4千円から5千円程度を計画しようと思いますが。

田畑委員長  
牛尾昭委員

はい、よろしくお願いします。

どうしても、この日だけは無理だという日があれば、今月末くらいまでに言ってもらえれば。予約の加減があるので。直前以外だったら大丈夫だと思いますけど。一応、11名で行きますのである程度事前予約しないと、ちょっと大変だろうと思いますのでよろしくお願いします。

あと乗り継ぎ等はなるべく面倒くさくないようなコースなんですけど、実は行きも羽田からリムジンが出ているんですが時間帯が合わないんで。モノレールと電車だけですからそんなにないと思うんで。2日目はちょっと乗り継ぎがあるんで。僕も乗ったことがない武蔵野線、ちょっと不安ですけども何とかなるだろうと。ということでよろしゅうございますか。

積立はいくらあったのかな3月末で。多分8千円か1万じゃないかな。積立はしていますので、行く前の日にそれぞれ皆さんが積み立てた金額をお渡ししますので。

田中書記  
牛尾昭委員  
布施委員  
田中書記  
牛尾昭委員

11月から。

5ヶ月か、ちょうど1万円です。

今まで特別委員会だったから2千円だったんだよな。

それは皆さんにお渡しするんですよ。

渡した方が良からう。それでは一応、1万円くらいお返し出来る予定なので、共通経費でもしかしたら要るかもしれないので、その中から2千円くらい天引きさせてもらって幹事が預らせていただきますので。ということで、よろしゅうございますか。

(はい、という声あり)

野藤委員

ホテルへ夜に合流しますから。すみませんがちょっと先に行っておりますので。

田中書記

野藤議員さんは13日に東京で会議があるということで、行きだけ別行動

ということになります。

牛尾昭委員

そういう事例は過去ありますので。野藤さん、初日にね、6時ぐらいから夕食の予定にしようと思いますが間に合いますね。

野藤委員

はい、間に合います。

牛尾昭委員

所沢はホテルが無いんですよ。ホテルパックで行くと30分圏域でちょっと田舎の方へ行くところあるんだけど、池袋も同じなんです時間帯が。そうするとパック料金からいけば池袋の方が、まあ西武池袋線で行けば直通なんです。ということで池袋を選択しました。よろしくお願ひします。

田畑委員長

はい、よろしくお願ひします。以上、視察のことにつきまして皆さんから質問等あれば。

(ありません、という声あり)

無いようですので次へまいります。

#### 4. その他

その他につきましては、次回の開催予定は、4月7日ですか。

田中書記

はい、予定なので今月末に業者が決まるので、業者さんとちょっと相談をさせてもらって、改めて連絡させてもらって良いですか。同じ日でも違う日でも連絡をします。決まり次第。それで良いですか。

田畑委員長

業者が決まってそれを出して、出来上がってくるのが7日。まあ業者の人と相談しなければいけないね。

田中書記

なので、次の予定は。

田畑委員長

次回開催予定は一応4月7日ということではありますが、業者との打ち合わせ等もありますので、確定はしておりませんので、事務局の方から改めて委員の皆さん方に連絡があるかと思ひます。森谷委員。

森谷委員

ここに来て校正原稿を読むよりも、事前に任せてもらえたら非常に有効に使えると思うんですけども。場所や範囲が決まっていますから。そのように次回からして欲しいとかということではなく、そういう流れで良いんじゃないかと。してもらったほうが有効に使えるのじゃないかというのが一つと、もう一つは、原稿を一番最初に出す時に、こちらのマス目みたいな形でポンと出して田中さんに打ち直してもらおうとかというようにやって、ある程度、形で決まったのをお願いして、出来ればこちらで校正までしてあげるようにしないと、一人人数が減るので少し負担を受けてあげないとまずいんじゃないかなという気がするんですが、どうでしょうか。

田畑委員長

まず一点目。事前に、委員会を開催する前に委員に対して、データの渡し方については色々ありますがメールならメールで、委員の皆さんに送信して内容チェックを事前にしておいていただくという考えだと思ひますが、

そのことについて、委員の皆さん方のご意見をおうかがいしたいと思います。岡本委員。

岡本委員 事務局の方がそんなにあれでなければ、私の方も今、森谷委員と一緒に、してもらった方がチェックしやすいと思っているんですよ。ただここで皆さんが本当にメールだけでいけるのか、それともFAXなのかということなんで。一人は今いらっやいませんから、あとの方についてどうかということですよ。

牛尾昭委員 私のところは旧式ですから。FAX。

岡本委員 お一人だけFAXで、あとはではメールでやってもらうということで大丈夫ですか。

田中書記 はい。

布施委員 飽くまでも効率化ですので。

田中書記 こういう形にして、ではなくて原稿をですよ。原稿の方が楽です。

笹田副委員長 それか、何日までにボックスへ入れておきますみたいな形でいった方が簡単ではありますね。

田畑委員長 結局は、田中さんの負担をちょっとでも軽くしようと思ったら。

田中書記 この形にするのはちょっと時間がかかったりするので。

岡本委員 それならボックスへ取りに来いということで。

田中書記 皆さんがメールで送ってくださった原稿を、この紙媒体にして皆さんのボックスに入れるか、来たデータを皆さんに送るか。PDFでも。

田畑委員長 あなたとしてはどちらが楽かだよ。事務局が0.1パーセントでも減るかということでスタートするんだから。田中さんが、こうしてもらった方が、こういうふうに委員会の皆さんが協力してもらえればちょっと楽、というか。

田中書記 では、良いですかすみません。このパブリッシャーに入れる作業がわりと大変なので、そこのところを手伝っていただく方が。

田畑委員長 ああ、データをこの中へ。これへ。

田中書記 そうです、わりと手間がちょっとかかったりするので。この度は先ほども話したように、会派の代表質問とかがあったりして原稿が出てくるのが皆さんすごく遅かったの。ぎりぎりだったりとかするので。これにちょっと手間取ってしまうというのがあります。

岡本委員 それではこの度の、今から我々に、訂正分のを作ってもらうのを、もう一回打ち直さないといけないの。

田中書記 そうですね。だからどちらにしろ見てもらった分をまたこのデータとしてこの中に入れないといけないですよ。

岡本委員 うん。ではそうでない状態という、検討か何かそのままを。

田中書記 原稿の訂正を皆さんでされるのであれば、その原稿をお渡ししておいて、見てもらって、それをまた見てもらって、それをまたうちの方でこの中に入れたいといけないですね。

笹田副委員長 これを手伝ってこれが出来た時点でメールを送った方が一番良いということですね。

田中書記 それはそうです、はい。原稿が送られてばらばらになるんで。

岡本委員 正副委員長で作って。

布施委員 だけど田中さんのパソコンと、議員のパソコンは直接はやりとり出来ないから。USBでデータのやりとりをしないと。その辺りもあるから一番良いのは、今言ったように、今時間かかったけど、本当はこのぐらいに出来た時点でチェックしてやった方が二重手間にならないよね。

笹田副委員長 全部出てきたところをここで打ち込む作業と一緒に手伝って、出来た時点で皆へ。

田中書記 皆さんで試してみてもらって、先に。

布施委員 それが一番良い。

田畑委員長 そうすればここでの時間も短くなるし。そうすれば、田中さんが修正訂正する部分が事前に分かれば、その都度やっていくようにすれば、負担が軽くなるんじゃないかなと。

笹田副委員長 では次回ですけども、一応副委員長なんで手伝いますので、この入れる作業を。なるべく皆さんに早めに渡せるようにちょっと頑張ってみようと思います試験的に。もし出来ることがあればちゃんとやれば良いと思います。次回は手伝わせてください。

田中書記 はい、また段取りを後から。

笹田副委員長 ただ、今回決めてもらわなければいけないのは提出期限ですね。提出期限が過ぎたらもう載せないということを決めるのであれば、きっちりやらせてもらいますので、ここで決めてもらって。とりあえずいつまでに原稿を出すかというのは決まってくるので。

田畑委員長 次回34号からは笹田副委員長に手伝っていただいて事前に。もしくはプリントアウトしたのを渡して事前にチェックしておいていただくと。

野藤委員 ある程度振り分けを、何ページから何ページというのを事前に振り分けしておいてもらおうとやりやすいんですが。

田畑委員長 それは今度作っていく上で、並んでおられる議員さんの順番で。

野藤委員 委員長が割り振りしておいてもらえれば集中的に見られるので。

笹田副委員長 逆に全体を見ておいてもらって、その時に集中して見られるところを、

今度は見落としがあるんで。全体的な目で通してもらっていて、気づいてなかったところを指摘してもらえば。3ページの時みたいに皆さんとしゃべっていて気づくこともあるんで。全体的に見てもらって。

田畑委員長

はい。

岡本委員

この度はどうするの。この度は森谷委員から、事前に欲しいよということについて。

田畑委員長

この度は間に合うから、次回からは。

岡本委員

これで、では行くということなんですね。

森谷委員

今回はもう一回ここで集まって訂正するでしょう。それを送っておくという、そういう話ですよ。

田畑委員長

だから今度は業者から。

田中書記

ああ、そうなんだ。すみません。

森谷委員

大掛かりなことは先の話で。今は次の原稿あたりでもう自分が3ページ担当しているでしょう。それを。

布施委員

あれは出来た者のチェックだから。業者との兼ね合いがあるからここじや判断出来ないでしょう。

岡本委員

だから前もってやったかどうかということを森谷さんは言っているんだよ。

田中書記

出来た時点でそれは送られます。

布施委員

僕らみたいな大きな間違いはないですよ。

岡本委員

じゃあボックスの中に早めに入れさせてもらうか。

田中書記

はい分かりました。

岡本委員

今後の今の、どういうふうの手伝っていただけるかって話でしょう。

田畑委員長

それで、話がまた朝のに返るんですが、今回提出期限を守らなかった、守られていない議員が一名おられるということで。これの対応について、どのようにするかということ。現時点で岡野議員が原稿を出しておりませんので、ここを削除して、最終ページに掲載出来ませんでしたということで、岡野議員のところを削除して、2段が空きますので、そこへ何らかの文言を入れるかということなんですが。委員の皆さん方のご意見をおうかがいしたいと思います。

岡本委員

はい。先ほど電話を2回しました。3回か。メールも実は原稿が締め切りを過ぎていますということのメールを送りましたが、回答がありません。それで、私の提案は、夕方まで待つということ。それで何らかの返事が無ければ、もうこの部分は削除して。要は何も取らない。それから後ろの掲載もしない。詰めていって調節する。要は一般質問を当人はしているということなんだけど、そのことについての報告がないわけだから。出さ



ないし、改めて積明的なものを言わない。この度はそういう形でさせてもらえないでしょうか。次回からは何らかのことを。それはもう、今議運という話も出たりしてますので。

田畑委員長

僕はね。やはりこの広報広聴の委員会がある程度威厳を持った考え方とかやり方をしていかないと。確かに議会運営委員会にかけるほど大切ではあるんだろうけど、方向性を定めた方が良いよね。広報広聴委員会でこのように決定したと。従って議運で一回話を出してくれというようなことに、ぐらいのことでやらないとね、あまり良い委員会にならないような気がするんですよね。このことが、4月20日頃を目処に全員協議会やりますから議員さん集まっていたいて、議会報告会の話をする時にね、全議員の前で広報広聴の委員会としての考え方というのを、そこでも言うべきだろうと僕は思うし、言わないといけないという気持ちを持っているんです。今回に限り、協議会もあって駄目だったらもう削除すると。全部詰めるべきで、空白があれば他の文言を入れると。その代わり後ろにも何もしないと。それではその考え方でやった場合にね、次に遅れる時も同じ手法を取るといふことにするのか、次回からは未提出につき掲載出来ませんとやるのか、ということになるかと思うんです。森谷委員。

森谷委員

何も書かないと、前回の12月定例会の串崎議員や上野さんみたいに、質問しなかった人との区別が何もつきませんよね。それで良いんですかね。それはいけないような気がするんですけどね。

田畑委員長

はい。岡本委員。

岡本委員

今、全協の話が出まして。それから議運の方はその前にあるのかどうかなんです。まず、この委員会の方から議運の方に向けて、この度の状態について、何らかの積明なり本人に反省を促すためのものを取ってもらう。その中で、反省が見られない、もしくは全体にある程度意識改革をしてももらうためには、全協で言うと。2本立てでその話をさせていただくと。それで、表示についてはもう一度、森谷委員の件もありますし、どう処置をしようかと考えているところです。ということで、議運もしくは全協にこのことを伝えるという形でどうでしょう。

田畑委員長

議運や全協を待っていたらこちらが間に合わなくなるからね。今回と今後とを統一見解で進んでいくか、今回に限るとするのか。

岡本委員

今回が間に合わないということであるならば、今の私が説明したように、説明させてもらって、要は外す、名前も入れない。

田畑委員長

一般質問しなかったと。紙面上では。

岡本委員

そういうこと。

澁谷委員 　だから、告知をするということ大事だと思うんですよ。今回は良いよ、次回からは罰則かけるみたいに、名前を記して議員は出ませんでしたということになると罰則と一緒にだから、そのためには前もって告知していかないと。

岡本委員 　それを議運なり全協なり、そのことを何らかの形で方向性を出してもらおうと。

澁谷委員 　いや、それはこちらはこういうふうにしたんだけど、議運に諮るだけで良いんですよ。こうしたいんだと。常任委員会なのでうちの委員会はこうしたいんだけどと。

田畑委員長  
牛尾昭委員 　牛尾委員。  
　議会だよりの最終責任者は議長だからね。常任委員会である程度、まあ今回は別ですよ、次回以降は常任委員会でどうすべきかということはある程度決めて、それを例えば議運の方へ、こういうふうに決めたと、とりあえずは浜田市議会の運用の中で、申合せの中に入れてくれというようなことは、正副委員長で議運の方へ申し出るのか。それも一つだと思うし。まあ先ほど次長が言ったけど、やっぱり基本条例の中で議会広報はどうあるべきかというのは、例えば議会報告会も含めて議員の責務だし義務だからね。それを欠けたことをするというのはとんでもないんだから。どうやって性根を入れるかということを考えなければいけないと思うので。載せないということも一つの手でしょうし、酷かもしれないけど差別化を図るために、本人は一般質問したけど所定の時期に原稿提出が無かったので今回は未掲載ですということをはっきり謳う必要があるのかも分からんね、本人のためにも。この程度で済めば良いわとなるのかも分からないけど、ある程度はペナルティじゃないけどハードルを上げる必要があるんじゃないですか。そうすると、広報広聴は常任委員会としてやっているのに、広報の部分で自分の一般質問の内容を市民に披歴出来る紙面からのカットがどれだけマイナスなことかというのを本人が自覚しなければいけないし、それをどういうふうにして知らしめるかといのは難しかろうけど。とりあえずそういうことで示すしかないんじゃないかな。

田畑委員長  
牛尾昭委員 　それで、結論は。  
　だから今回は、先も言ったように例えば今日一杯待つのか、今日連絡ついて明日中に出せばオッケーにしてやるのかどうかということは、そりゃ正副委員長でお決めなさい今回のことは。後のことについては、やっぱり告知をしてからやらないといけないと思う。

岡本委員 　この度のやつを掲載しないということと共に、今こういう事情で掲載さ

来てませんということを、謳うということですか。  
 牛尾昭委員 今回はそれはしないよ。次回からはね。  
 岡本委員 私も、この度は謳えないだろうと。  
 澁谷委員 それに一期の議員だし。  
 田畑委員長 一期とか二期とかの問題じゃない。  
 澁谷委員 問題じゃないんだけど、そこは配慮するということ。  
 田畑委員長 議員という意識が低すぎるんだよ。  
 牛尾昭委員 委員長。  
 田畑委員長 はい。  
 牛尾昭委員 それも議員になるんだから。岡野君もそういう議員なんだよ、とりあえず今のところは。それは仕方ないよ。  
 田畑委員長 はいまとめ。岡本さんまとめ。皆さん他に意見はありますか。  
 笹田副委員長 良いですか。要するに、夕方って何時ぐらいですか。  
 岡本委員 5時でどうするか、明日の朝まで時間をもらうからという話はしますから。もしそれまでに連絡が取れなかったらもう。  
 笹田副委員長 連絡が取れた場合は明日までに原稿を書くということですか。ではその連絡は我々にも貰っていいですか。  
 岡本委員 分かりました。  
 笹田副委員長 もしも連絡が無い場合は、何も直さずにずらして、またずらした部分をどうしなければいけないかということをお話さないといけないから。  
 岡本委員 市長のロードマップでも入れなさい。  
 布施委員 私もそう思いました。それが良いと思います。16個の項目だけでも良いから。  
 田畑委員長 はい、森谷委員。  
 森谷委員 笹田さん明日という話ですけど、明日も時間を指定しないと。明日っていつよ、どこまでが明日ってということになりますので。それともう一つあるんですが、今、想定外でしたよね。想定外というのがあるたびに先送りで、また話し合おうよってというのはとろい話だと思うんです。想定外の場合は委員長の権限で決めてもらうということで良いんじゃないですか、信頼して。今回の話は別にして、決められたことのないことは、委員長の常識を信頼して。  
 田畑委員長 ある程度はそりゃあ。  
 森谷委員 原発事故もそうでしたけどね。決まりが無い決まりが無いと言っていたら大変なこともあるわけですから。  
 笹田副委員長 委員長良いですか。

田畑委員長

はい。

笹田副委員長

今回のことに関しては先ほど言ったように5時までに出さなかったら載せません。と、委員長副委員長の判断にさせてもらおうと思います。名前も載せないし、連絡取れた場合も明日の午前中9時までには提出が無かった場合は同じ処置を取るということで、今回のことは納得していただきたいと思いますので。これは正副委員長の方から議長の方には、副議長がおられますけど、やっぱり議長が発行するという事なので、もし掲載しない場合は伝えようと思いますので、了承していただけたらと思います。

田畑委員長

以上でよろしいですか。

(はい、という声あり)

澁谷委員

すみませんあともう一個。元へ戻るんですけども、委員長が言われた、今後の議会報告への流れですけど、4月20日前後にと。議会だよりともう一冊これについて説明するとか何か、作らなくて良いんですか。

田畑委員長

基本的にはこれだけで。

布施委員

だから自治区制度、ですよ。

澁谷委員

パンフレットじゃないけど、何か要るんじゃないですかどうなんですか。これだけで良いんですか。これだけで出来れば良いけど。

布施委員

澁谷委員さん、だいたいこれを元手に報告するんですが、これに対しての質問が無くて、違う方向の質問が結構あるもので。

田畑委員長

だから今度は意見交換会みたいになる。例えば、厳しい意見だったら、去年の場合ね、議会報告会の議事録はあろうかと思っておりますので、また見ておいていただければ良いと思うんですけども。色んな意見が出るんですよ。

澁谷委員

出来るなら良いんですけど。去年の話を聞くと、委員長によっては捌き切れなかったりとか。基本があった方が良いのかなというのが。

布施委員

質問者に対しての姿勢が。一問一個というのに三つも四つも五つもあったから。

田畑委員長

議会報告会は今度の全員協議会の、まあこの視察が終わって、向こうがどのような報告会をしているかを見て、良い部分については取り入れてやりたいということ把握した上で、という思いがあるから4月20日ぐらいが良いんじゃないかなという気がしてそう発言したんですが、報告会における報告資料は、議会だよりだけで過去2年間やりましたので。色んな質問が出ましたが、それなりに対応が来ておりますので、今回も各常任委員会の割り振りで、既にご案内しましたような班編成になっておりますので。市民の皆さんに理解を得られるような報告会にしていきたいと思っております。20分くらいで終わるんでしょう。30分かからない。

その他、皆さんから意見があれば発言していただきたいと言うと、農業だ魚だ公民館だ、色んなのがある。去年の金城なんて酷かったよね。議員として農業行政にどういうビジョンを持っているんだと。議会なんて執行権無いのと思うんだが。

牛尾昭委員  
田畑委員長  
牛尾昭委員

委員長、最後に良いですか。

はい。

行政視察なんですけど、どうしても行けない場合にある日限を切るとキャンセル料が発生するんですけどそれは個人負担になりますので。その辺りを皆さん注意されないと。行政視察だから途中でやむを得ない事情でキャンセルになっても、行政が払うわけではなく個人負担ですから。一週間だったかな。

田中書記  
牛尾昭委員  
田中書記  
牛尾昭委員  
田中書記  
牛尾昭委員  
岡本委員

キャンセルはもう3週間前なので。この度はバックなんですよ。

都合が悪くて行けない場合にはキャンセル料が発生するんだろう。

はい、キャンセル料が発生します。

しかも自己負担という。多分、忌引きか何かだったら、どうなるのかな。

何とか大丈夫だと思います。

それ以外の理由だったら個人負担になるので。

行政視察ですから、その都合というのが起きるのかな。忌引きの場合はあるかもしれませんが。

野藤委員  
牛尾昭委員

病気で倒れることもあるでしょう。

だから進行上の問題もあるから。その場合も自己負担が発生するというのを、新人議員さんがいらっしゃるから言っておかないと。それこそ、告知をしておかないと。

田畑委員長  
笹田副委員長

その他の項目で。笹田副委員長。

あれはどうします、話し合っていた今後の締め切りについては。次回にしますか。守らなかったら載せないというのも、名前を載せるとか載せないとかも話しておかないと。

田畑委員長

今回は岡野議員が未提出につき今の欄を削除して野藤さんから押し上げていって、最後が2段空くよね、あそこへ市長のロードマップを作ってください、ということに今回はしたんですが、6月定例会の後、絶えず議会の最終日の17時まで一般質問における原稿の資料の提出というのはお願いしているんですけど、6月議会においても出さなかった、遅れた人の対応については、もちろん載せない。ペナルティと言えおかないが、後ろに未提出につきと書くか書かないかというのだけ、一本化しておかないと。名前を書きますよ、未提出により掲載出来ませんでしたと、書くぞという

ことを、今度ははっきり全協の時に皆さんに言ってしまおう、ということが、広報広聴委員会として決定いたしました。ということで。

牛尾昭委員　　とりあえず委員長、正副委員長で議長にそういうふうにしたと言っておいてくださいよ。

笹田副委員長　　今回のことを含めて言っておきます。要するに、遅れた分は一切載らないし、載せなかった理由も載せると。

牛尾昭委員　　ということが必要かも分からないな。

田畑委員長　　厳しいということはないがね、線をぴしっと引いて。

森谷委員　　例えば今のところで、自分は一般質問したけど議会だよりも載せてもらわなくても良いわという人がいたらどうするんですか。

田畑委員長　　載せてやらないよ。

澁谷委員　　その時には名前を載せるんですか。

田畑委員長　　そんな人はまず居ないよ。

笹田委員　　いやもしも居たとして。それでも同じ扱いなんですか。名前を載せて、この人は原稿が出ませんでしたと。

田畑委員長　　載せたくなければ提出期限に出すなど。そうしたら同じことになる。

澁谷委員　　なるんだけど、後ろに名前を罰則で出すか出さないかということです。

笹田副委員長　　その理由を書けば良いんじゃないですか。出して欲しくないなら、本人が出したくないため、というようなことを書いて。差をつけるのであればですよ。

田畑委員長　　何かこう、ペナルティというか。作らないと統制が取れないよ。

岡本委員　　ちょっと良いですか。

田畑委員長　　はい。

岡本委員　　逆に、一般質問したら出すのが当たり前という括りでやっつけてしまわないと。自分は一般質問したけど出したくないというのは、では一般質問するなという話ですよ。そういう括りで私は良いと思いますよ。

牛尾昭委員　　委員長。

田畑委員長　　はい。

牛尾昭委員　　議会活動というのは、議会だよりという広報で市民に知らせるといのは義務みたいなものだからな。それを放棄するというなら辞めてもらわなければいけないよ。逆に言えば。セットなんだから、議員になった以上は、そういうものはやらないといけないわけだから。政倫審にかけるまでもないよ。

澁谷委員　　牛尾先輩が言われるんだけど、以前は浜田市議会は名前も載せなかった件がありますよね。そういう流れからこうきて、今は名前も写真も載せる

ようになったわけですよ。そういう流れを考えた時に、一瞬どうなのかなと思っただけです。

牛尾昭委員

だからね、今の話。昔あったんですよ、名前を載せると売名行為になるから。競ってやるからいけないと古い人がおっしゃっていた。そのうち名前を出して良いということになって、写真も最近。だから本来の透明化・可視化が進んでいるわけですよ。そういう流れから言えば、出さないというのは、よく分からないよ。

田畑委員長  
澁谷委員

出さないというのは、するなということか。その他ありますか。  
1本ね、了解。

田畑委員長  
布施委員

セットだよ。私はそういう発想をする者は居ないと思うが。  
想定外だった。

田畑委員長

その他ありますか。  
(ないです、との声あり)

今日の編集作業の件についてと、そして議会報告会について、行政視察について、その他の項目で、次回4月7日ごろ予定しておりますが、印刷屋さんとの関連で、7日がちょっと確定したわけではありません。それで、出来れば事務局にお願いしておきたいのは、印刷屋さんから4月7日にもしなったら4月7日ですが、1日2日前にレターケースへ入れておきましたというメールを発信していただければ。4月7日の編集作業が短時間で済むかと思われまますので。大変ではありましようが。

皆さんから意見が無いようでしたら終わりたいと思います。それでは、以上をもちまして第3回広報広聴調査会を終わりたいと思います。どうもご苦労様でした。

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

議会広報広聴委員会委員長 田畑 敬二

[ 13時 35分 閉議 ]